

令和3年 5月

チーム代表者 様

広島県小学生バレーボール連盟
会長 後藤 尚史

全日本小学生バレーボール大会広島県大会における
新型コロナウイルス感染予防対策について(お願い)

コロナ禍における大会開催にあたり、選手が安心してプレーできる環境を保障し、選手ならびに大会関係者の健康と安全を守るために、下記の通り感染予防対策を行います。チーム関係者に周知するとともに、ご協力をお願いします。体調不良の場合や、大会前 2 週間以内に感染が疑われる者との接触があった場合など、感染の疑いが考えられる場合は、大会への参加をご遠慮ください。また、感染予防対策への協力が得られない場合は、参加をお断りすることがあります。大会実施後、関係者が感染陽性者となった場合、参加者名簿ならびに健康チェックシートを保健当局に開示することがあることをご了承ください。なお、今後の感染状況によっては、大会の中止の判断をする場合があることを申し添えます。

記

1 基本方針

広島県小学生バレーボール連盟が作成している「大会等開催に向けたガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」に基づき対応します。

- ◆ 三密の状況をつくらない。
- ◆ 指示されたウォーミングアップ及び試合中の選手以外はマスクを着用する。
- ◆ 大会中のソーシャルディスタンス(1m以上)を確保する。
- ◆ 大会関係者が、感染者になったとしても誹謗中傷は許さない。

2 大会まで

(1) 申し込み

- ①主催者が示す新型コロナウイルス感染予防対策に同意する。
- ②大会参加者名簿を提出する。
- ③大会 2 週間前から、日々の健康チェックを行い、「健康チェックシート」に記録する。

(2) 抽選

- ①抽選会には、各チーム 1 名のみの参加とする。

3 大会当日

(1) 受付

- ①チーム毎に受付時間を指定するので、時間を厳守する。
- ②チームの代表 1 名は、来館者全員の「健康チェックシート」を持って受付を行う。それ以外の者は、受付が終わるまで館外で待機する。 *大会3日目は別途指示をする。
- ③代表は、選手以外人数分のリストバンドを受け取る。

(2) 入場

- ①受け付け終了後、全員がそろって入館し、非接触体温計で検温する。(37.5℃以上は入館不可。)
- ②靴を持ったまま指定された観覧席に移動し待機する。

③選手以外は、手首にリストバンドを着ける。

(3) 監督会議と開会式

①監督会議は、監督1名のみでの参加とし、フロアで行う。放送があるまで観客席で待機する。

②開会式は実施しない。

(4) ウォーミングアップと試合

①指示があるまで観覧席で待機する。

②ウォーミングアップは、決められた時間に決められた場所で行う。

③指示されたウォーミングアップ及び試合中の選手は、マスクを外すことができる。

④大きな声を出してのかけ声や指示は控える。選手はネット越しに、相手コートに向かって発声しない。

⑤コートチェンジは行わない。

⑥試合中、選手同士のハイタッチなどの身体接触を控える。

⑦試合前後の握手はせず、挨拶はエンドラインでの礼のみとする。

⑧タオル・給水ボトル・アイシングバックなどは共用しない。

⑨チームは、除菌シートや消毒液などを持ち込み、試合終了後はベンチの消毒を行って退出する。

(5) 審判

①審判チームは、記録用の筆記用具を持参し使用する。

②審判チームは、除菌シートや消毒液などを持参する。

③主審・副審は、笛の上に不織布マスクを着用するか、マスクカバーをつけて吹笛する。

④ボールは、セット毎に審判が消毒する。

⑤試合終了後、審判チームは、使用した備品等を消毒して退出する。

(6) 引率と応援

①入館できるのは、引率者3名のみとし、応援者の入館はできない。

②引率者は、声を出しての応援をしない。

③試合中は、観覧席の所定の場所から観覧する。

④控えの選手は、声を出して応援をしない。

(7) トイレ

①順番を待つときは間隔を保って待つ。

②石けんを使って30秒の丁寧な手洗いを心がける。

(8) 飲食

①観覧席での飲食はできない。

(9) 表彰と閉会式

①表彰は、試合終了後コートで行い、閉会式は行わない。

(10) 退出

①使用した観覧席は、チームが持参した除菌シートや消毒液で拭き取り消毒する。

②試合、審判、消毒が終わったチームは、代表者が本部に確認後、速やかに退館する。

③チームが出したゴミはすべて持ち帰る。

4 大会後

大会終了後2週間以内に、大会参加者の感染がわかった場合は、速やかに大会の感染対策責任者に連絡すること。

感染対策責任者 山岡 静樹

携帯電話番号 090-2864-0491